



北海道大学

津別ファンの獲得に向けて
～津別を学ぶ、新たな価値観の創造～

成果報告会

2018年12月8日

津別留学班

担当学生：服部立夏、和泉優大、笹原瑞希、
西岡尚樹、古川椋也、五十嵐絹、
岸本卓也、土屋航平

I. 企画概要

①問題意識

②企画テーマ

II. アンケート結果

III. ヒアリング内容

IV. 今年度視察内容

V. 企画詳細内容

①概要

⑥カリキュラム内容

②ターゲット

⑦運営体制

③形式

⑧期待される効果

④募集人数

⑤募集方法

VI. 今後の検討事項



I. 企画概要

①問題意識

(昨年・一昨年の提言)

○観光資源の孤立 →

ストーリー化の重要性

産業観光・体験型観光の重要性

(津別町の課題・目標)

○地域資源の知名度の向上

○新たな人の流れをつくる



(1)ストーリーのある

(2)津別のニューツーリズムで

(3)津別ファンを獲得



I. 企画概要

目をつけたのが...

『トキ消費』

※『トキ消費』とは？

「トキ消費」の3つの特徴

1 非再現性・限定性

時間や場所が限定されていて、同じ体験が二度とできない。

2 参加性

コンテンツというよりも、その場において参加することが目的の運動体。

3 貢献性

参加した成果が目に見えて分かり、貢献していることが実感できる。

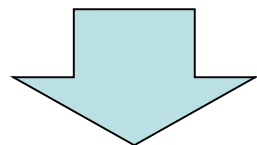
「モノ消費」⇒「コト消費」
から一歩進んだ生活者の
ニーズのことを示す。

出典：博報堂生活総合研究所『熱熱トーク 第5回』
<http://www.hakuhodo.co.jp/archives/column/42742>



②企画テーマ

観光 × 「津別を学ぶ」 × 『トキ消費』



新たな価値観を創造

「津別留学」



目次

I. 企画概要

①問題意識

②企画テーマ

II. アンケート結果

III. ヒアリング内容

IV. 今年度視察内容

V. 企画詳細内容

①概要

⑥カリキュラム内容

②ターゲット

⑦運営体制

③形式

⑧期待される効果

④募集人数

⑤募集方法

VI. 今後の検討事項



Ⅱ. アンケート結果

○概要

- ・ターゲットの確定、ニーズ調査のため実施

自然体験学習についての意識調査

このアンケートは、北海道大学公共政策大学院の武藤俊雄専任講師監修の下、同大学院の有志学生団体「HALCC」が作成したものです。「HALCC」では、北海道津別町の地方創生に向け、自然体験学習を行う企画を立てています。この活動において、北海道での自然体験学習の需要を調査する目的により、このアンケートを実施しています。

回答対象者は、「現時点（2018年9月末日現在）で大学生までのお子様を持つ親」となっています。

特に、現在関東圏にお住まいの方は、ぜひ回答をお願い致します。

このアンケートでお伺いする「自然体験学習」とは、学校が学校教育として行うものではなく、それ以外の自然体験学習のことを想定しています。

なお、お答え頂いた内容についてはデータとして使用するにとどまり、個人が特定されるようなことは決してありません。

このアンケートに関するお問い合わせは、下記のメールアドレスにご連絡ください。

北海道大学法学部4年次

HALCC 観光班チーフ

服部立夏

rikka-b@eis.hokudai.ac.jp

自然体験学習についての意識調査

手法 : インターネット上でのアンケート

対象 : 大学生までの子を持つ親

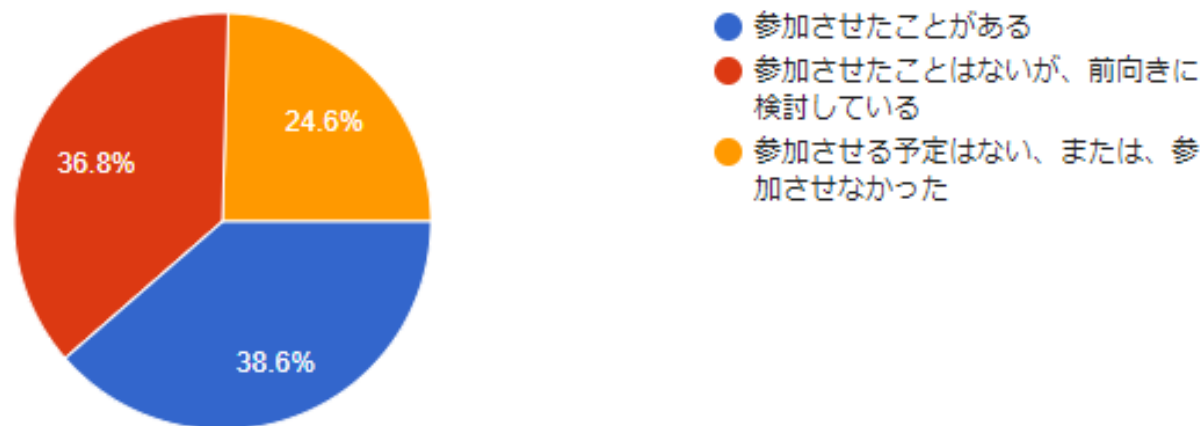
回答数 : 57件



Ⅱ. アンケート結果

問7 お子様を自然体験学習（田舎での農業体験・林業体験など）に参加させたことはありますか。次の中から選んでください。

57件の回答



○「参加させたことがある」親は約4割

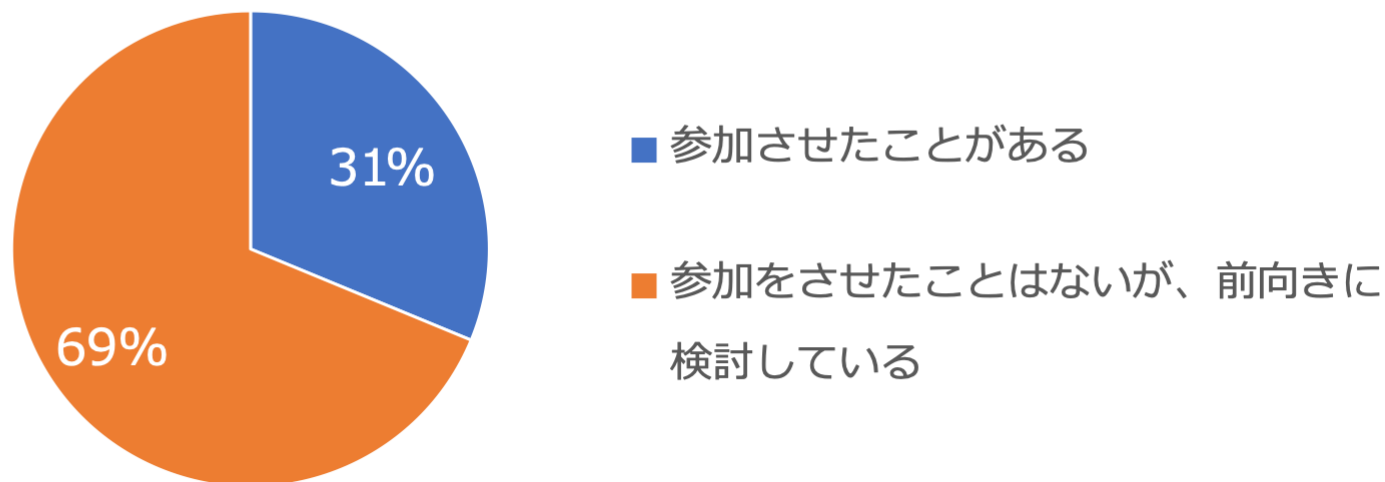
○「前向きに検討している」親を含めると全体の4分の3

→ 自然体験学習に高い関心あり



Ⅱ. アンケート結果

40歳未満の親の自然体験学習への意識

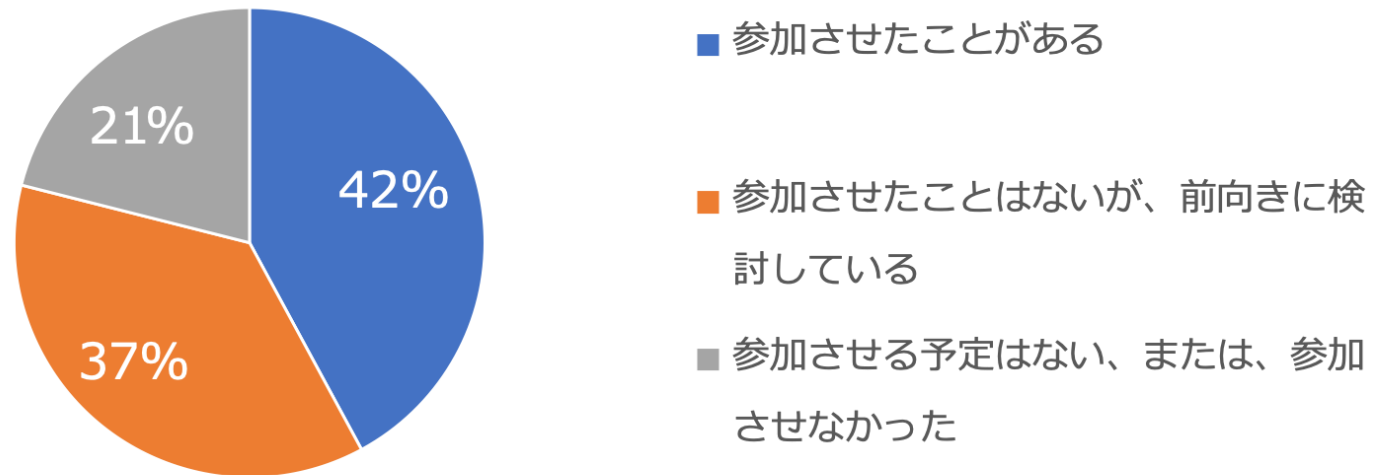


○40歳未満の親で参加に関心がないという回答なし
→若い世代の親は自然体験型学習に関心がある



Ⅱ. アンケート結果

都市部出身の親の自然学習に対する意識

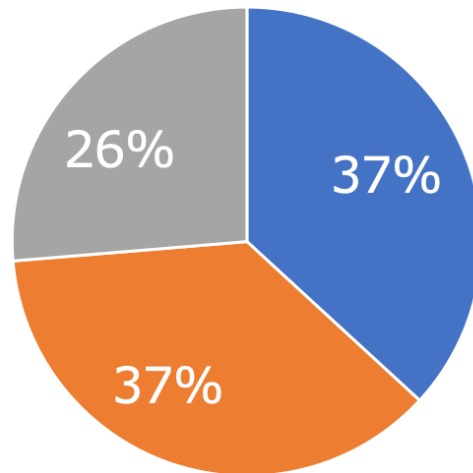


○都市部出身の親の79%が関心を抱く



Ⅱ. アンケート結果

地方部出身の親の自然学習に対する意識



- 参加させたことがある
- 参加させたことはないが、前向きに検討している
- 参加させる予定はない、または、参加させなかった

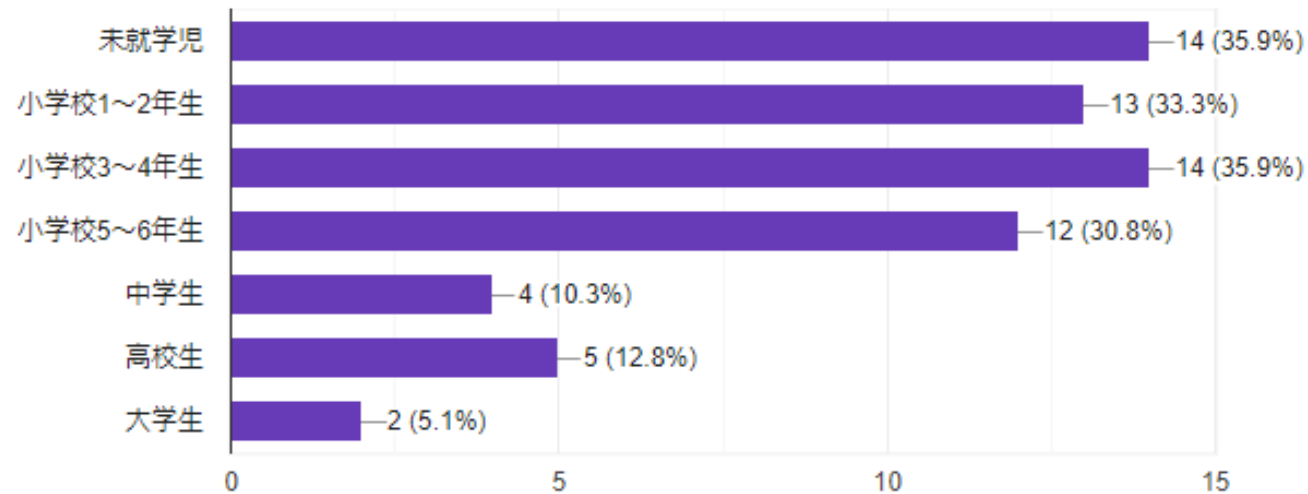
○地方出身の親の74%が関心を抱く
→親の出身地に関係なく関心が高い



Ⅱ. アンケート結果

問12 お子様は何歳ぐらいのときに自然体験学習に参加させた、もしくは参加予定ですか。複数のお子様がいらっしゃる場合、複数選択してください。

39件の回答



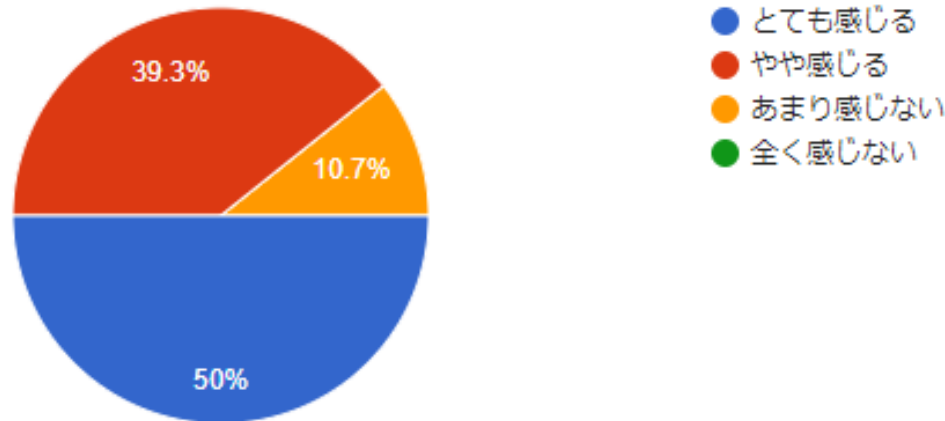
○未就学児～小学生年代が多数を占める
→幼いうちから体験させたいという意向



Ⅱ. アンケート結果

問11 自然体験学習を通して、お子様が成長したと感じることはありますか。次の中から選んでください。

28件の回答



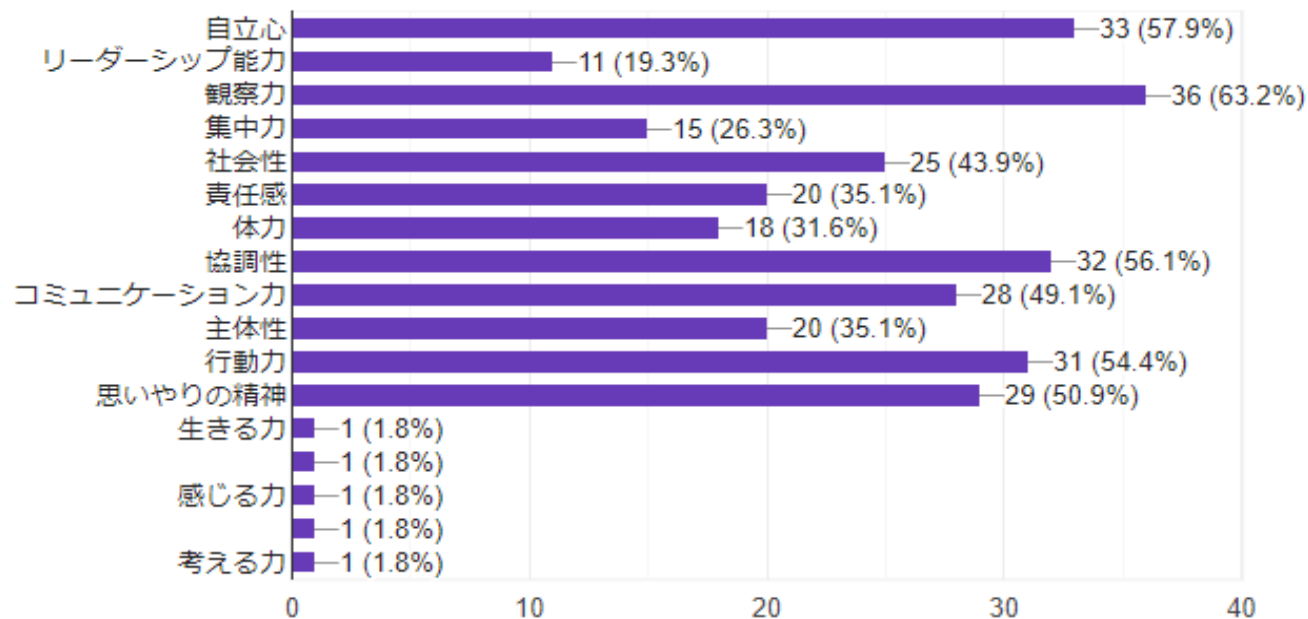
○「とても」「やや」合わせて9割近くの親が子の成長を実感
→参加後、**子の成長を実感**できている



Ⅱ. アンケート結果

問13 自然体験学習を通して、お子様に身に付けてほしい能力や成長は何ですか。複数回答可能です。

57件の回答

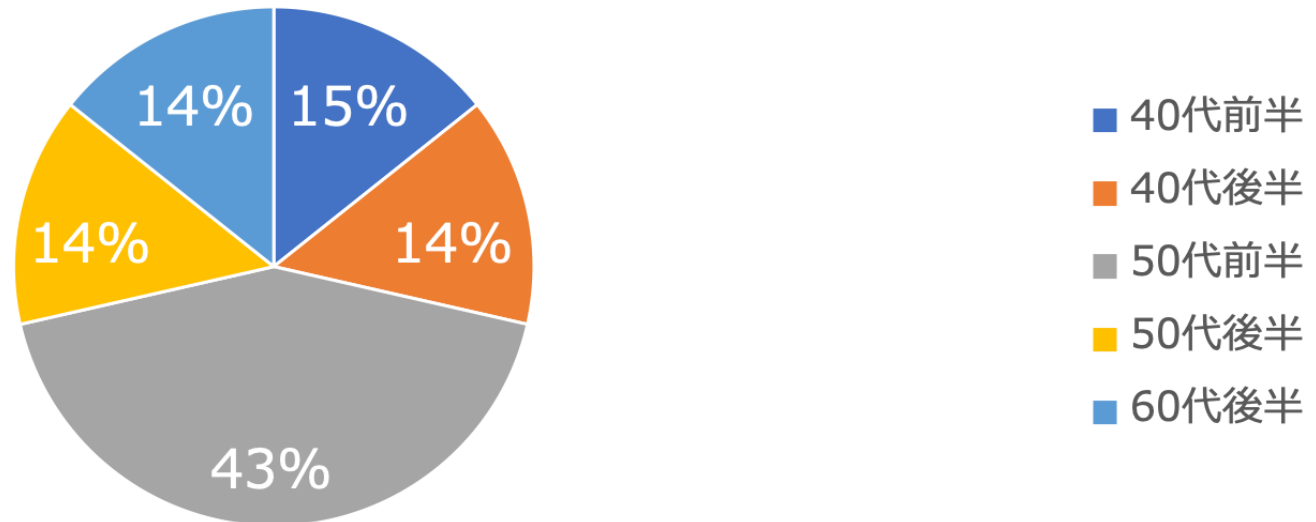


○様々な能力の取得・成長を期待
特に「観察力」「自立心」「協調性」が多数



Ⅱ. アンケート結果

5万円以上の支出意思がある親の年齢



○5万円以上の支出を許容できる親は全て40代以上
→壮年期以上の親には支出意思あり
しかし、若い親の支出意思は限定的



Ⅱ. アンケート結果

まとめ

○自然体験学習に関心を持つ親は多数

➡親のニーズ:大

○幼いうちから自然体験学習を推進

➡ターゲットの対象年齢はやや低く設定

○自然体験学習による子供の成長

多様な能力獲得の期待値:大

➡学習として最適

PR方法として利用可能



目次

- I. 企画概要
 - ①問題意識
 - ②企画テーマ
- II. アンケート結果
- III. ヒアリング内容
- IV. 今年度視察内容
- V. 企画詳細内容
 - ①概要
 - ②ターゲット
 - ③形式
 - ④募集人数
 - ⑤募集方法
 - ⑥カリキュラム内容
 - ⑦運営体制
 - ⑧期待される効果
- VI. 今後の検討事項



Ⅲ. ヒアリング内容

①津別でのヒアリング

- ・現地に赴いて視察実施

②株式会社JTBのヒアリング

- ・対面形式でヒアリング実施
- ・企画案を踏まえて実施

③小学校、中学校の教員へのヒアリング

- ・メール形式でヒアリング実施
- ・企画案＋ターゲットについてヒアリング



Ⅲ. ヒアリング内容

①津別でのヒアリング(昨年)

○課題

- ・観光におけるPR・マーケティング不足
- ・働き手不足
- ・長期滞在の需要が少ない
- ・受け入れ体制の問題(宿泊、農業・畜産体験)
⇒特に農業・畜産業は繁忙期には対応困難



Ⅲ. ヒアリング内容

①津別でのヒアリング(今年)

- ・都市部から訪れた子供たち

➡現地の人からすれば些細なことでも興味を示す

例: 星空



その一方で・・・

- ・キャパシティの問題⇒1回の受け入れ人数を5人程度に
- ・町民間の意識の差
- ・各自のバラバラな取り組み⇒横のつながり確保



Ⅲ. ヒアリング内容

②JTB 平石様ー①

- ・旅行業法との抵触に注意

⇒今回のケースでは、

①あるコミュニティで希望者を募る

②希望者に対し、所要額を提示・案内

- ・不特定多数への広告は不可能

⇒特定の団体・集団への告知・案内のみ(学校など)



Ⅲ. ヒアリング内容

②JTB 平石様ー②

- ・ターゲット：**小学校高学年・中学生**（年代としての特徴）
- ・学習塾の体験学習に関与するケースあり
⇒ **関東の学習塾との提携**も視野
- ・催行中の移動は**タクシー**が適当？

- ・コスト（予算）：飛行機代（羽田ー女満別子ども**1万円～**）
JTB引率者（必要なら）**1万円～/1日+α**
その他諸費用



Ⅲ. ヒアリング内容

③小学校教員(神戸市)－①

○自然体験学習について

- **小学校5年生から**宿泊型自然体験学習実施
- 学校教育外の自然体験学習参加者は複数実在
- **多くの保護者が自然学校に賛成**
➡ニーズはあるのでは？



Ⅲ. ヒアリング内容

③小学校教員(神戸市)－②

○子供たちについて

・初対面の子供

➡クラス遊び、共同作業、グループ学習、グループ活動

・宿泊型自然体験学習の期間中

➡活動場所の下見、病院のリストアップ、アレルギー調査

ホームシックになる子供は少ない(6年生の場合)



Ⅲ. ヒアリング内容

③ 中学校教員(さいたま市)ー①

○ 自然体験学習について

- ・ **小学校5年生から**自然体験学習実施
小学校1～2年生でも近場で自然学習を行う
- ・ 自主的にキャンプ参加の児童など実在
➡ **「体験すること」**で関心を持つ



Ⅲ. ヒアリング内容

③小学校教員(さいたま市)－②

○子供たちについて

・初対面の子供

➡**お互いを知る**時間の確保(人間関係プログラム実施)

※人間関係プログラムとは？

「人と接する際に必要な姿勢・態度・感情のコントロールの仕方、相手の感情を読み取る仕方等について、楽しく学び、日頃の授業や行事などをはじめとする直接体験の場で定着を図る」

出典:さいたま市教育委員会学校教育指導部指導2課



目次

- I. 企画概要
 - ①問題意識
 - ②企画テーマ
- II. アンケート結果
- III. ヒアリング内容
- IV. 今年度視察内容
- V. 企画詳細内容
 - ①概要
 - ②ターゲット
 - ③形式
 - ④募集人数
 - ⑤募集方法
 - ⑥カリキュラム内容
 - ⑦運営体制
 - ⑧期待される効果
- VI. 今後の検討事項



IV. 今年度視察内容

視察のポイント

(1)「津別を学ぶ」ことになるか？

(2)「津別留学」のカリキュラムに入れるか？

(3)子供の成長が見込めるか？



IV. 今年度視察内容

畑ツアー

○津別・北海道ならではの農業を体験

○好奇心、観察力など養成可能



IV. 今年度視察内容

河本農場

- 津別の農業について実際の農家と交流して学習
- 作物の現場を見て身近に感じる
- 生産意欲、主体性、順応能力など養成可能

川瀬牧場

- 津別の畜産業について実際の農家と交流して学習
- 家畜と触れ合い身近に感じる
- 対応力、順応能力、社会性など養成可能



IV. 今年度視察内容

TSKOOL

○木の良さを肌で伝える

○工作による創造力、忍耐力、集中力など養成可能



IV. 今年度視察内容

道の駅 あいおい

○津別・北海道の歴史を学ぶ

○好奇心、観察力、社会科教育での成長など養成可能



IV. 今年度視察内容

ホーストレッキング研究会

○乗馬・エサやりによる馬との触れ合い

○運動能力、注意力、観察力など養成可能



IV. 今年度視察内容

シゲチャンランド

○津別ならではの芸術作品

○創造性、想像力、観察力など養成可能



IV. 今年度視察内容

津別峠

- 希少な雲海を体験
- 自然鑑賞力など養成可能



IV. 今年度視察内容

チミケツプ湖・ホテル

○森と湖、自然に触れる

○観察力、自然鑑賞力など養成可能



目次

I. 企画概要

①問題意識

②企画テーマ

II. アンケート結果

III. ヒアリング内容

IV. 今年度視察内容

V. 企画詳細内容

①概要

⑥カリキュラム内容

②ターゲット

⑦運営体制

③形式

⑧期待される効果

④募集人数

⑤募集方法

VI. 今後の検討事項



V. 企画詳細内容

①概要

○「津別を学ぶ」をコンセプト

○津別町での短期留学プログラム（3泊4日、長期休みを利用）

○津別ならではの自然体験を通じた学習

○津別ファンの獲得（子供、両親ともに）

○子供の成長促進



V. 企画詳細内容

②ターゲット

○ 関東圏在住の小学校5年生～中学3年生

○ 学校で既に自然体験学習を経験済み

○ 自然体験学習に関心を寄せる親を持つ

○ 子供の能力形成に高い関心を寄せる親を持つ



V. 企画詳細内容

③形式

○3泊4日程度の「短期留学」⇒津別町の負担軽減

○1年に3回程度実施⇒リピーター確保

○合宿型（「でてこいランド」等を利用）



でてこいランド（津別町HPより）

○メンター制度（年上の子供が年下の子供の面倒をみる）⇒子供の成長促進

○メインは体験型教育⇒『トキ消費』実施



V. 企画詳細内容

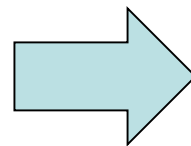
④募集人数

○1回につき**5名**程度

(津別町・体験受け入れ先のキャパシティに合わせて変更)

ただし・・・

航空機の団体料金適用
利益回収



8名以上が望ましい

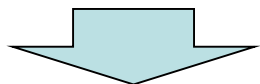


V. 企画詳細内容

⑤募集方法

○実施初年度～数年

姉妹都市・千葉県船橋市の小中学生を募集



その後、徐々に関東圏に募集拡大

○実施初年度

モニターツアーとして「親子体験」形式で実施



その後、募集・対象も自走化



V. 企画詳細内容

⑥カリキュラム内容

- 夏休み期間(7月21日～8月30日まで):2回
- 冬休み期間(12月22日～1月6日まで):1回 実施

①津別体験コース(夏実施)

②高度木育コース(夏実施)

③冬の津別コース(冬実施)

➡リピーターの確保



V. 企画詳細内容

⑥カリキュラム内容

①津別体験コース

ポイント

(1)津別を広く学習

(2)津別町民、自然、生き物との交流を重視

(3)津別留学初心者向けカリキュラム

(4)津別の魅力を感じるための仕組み



V. 企画詳細内容

⑥カリキュラム内容

①津別体験コース

➡カリキュラム内容は資料参照

➡合計金額概算

小学生82,396円、中学生86,496円(想定)

内訳は資料参照



V. 企画詳細内容

⑥カリキュラム内容

②高度木育コース

ポイント

- (1)「**愛林のまち津別**」を前面に押し出す
- (2)「木」にまつわる全てを網羅
- (3)①→③体験者の参加を想定
- (4)**子供の成長**＋**津別ファン**育成



V. 企画詳細内容

⑥カリキュラム内容

②高度木育コース

➡カリキュラム内容は資料参照

➡合計金額概算

小学生89,616円、中学生90,716円(想定)

内訳は資料参照



V. 企画詳細内容

⑥カリキュラム内容

③冬の津別コース

ポイント

(1)津別の冬を体験

(2)①よりやや高度なカリキュラム

(3)①体験者の参加を想定

(4)子供の成長＋津別への愛着増進



V. 企画詳細内容

⑥カリキュラム内容

③冬の津別コース

➡カリキュラム内容は資料参照

➡合計金額概算

小学生82,199円、中学生82,199円(想定)

内訳は資料参照



V. 企画詳細内容

⑦運営体制

○運営主体は民間組織に委託

ただし、津別町役場と連携をとれる組織

○旅行代理店を經由して運営実施（募集、企画等）

➡旅行業法順守のため

○引率者（教員経験者、津別の歴史などに精通している人物など）必須

○参加者の保険加入の義務化、津別近辺の病院との連携必須



V. 企画詳細内容

⑧期待される効果

①津別町側

○ストーリー化の実現

○交流人口の増加

○津別ファンの獲得

○津別のPR促進

○移住者の増加



V. 企画詳細内容

⑧期待される効果

②参加者側

○『トキ消費』体験

○子供の成長促進、能力形成促進

○新たな価値観の獲得

○津別留学以外での津別との関り



目次

- I. 企画概要
 - ①問題意識
 - ②企画テーマ
- II. アンケート結果
- III. ヒアリング内容
- IV. 今年度視察内容
- V. 企画詳細内容
 - ①概要
 - ②ターゲット
 - ③形式
 - ④募集人数
 - ⑤募集方法
 - ⑥カリキュラム内容
 - ⑦運営体制
 - ⑧期待される効果
- VI. 今後の検討事項



VI. 今後の検討事項

- (1) 運営主体の確定
- (2) 津別町民への理解、周知徹底方法
- (3) 「津別留学」の継続方法、仕組みの安定化
- (4) 引率者問題
- (5) 財源問題



参考文献

- ・公益財団法人日本離島センター 『「離島留学」「離島通学」実施小・中学校とその概要』 季刊『しま』 247号、2016年9月、87頁
- ・国土交通省:観光庁「政策について」 http://www.mlit.go.jp/kankocho/page05_000044.html
- ・国土交通省 国土政策局 『平成29年度政策レビュー 離島地域における振興施策』 国土交通省 2017年10月20日
- ・文部科学省 『体験活動の教育的意義』 http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/04121502/055/003.htm
- ・博報堂生活総合研究所『熱熱トーク 第5回』 <http://www.hakuhodo.co.jp/archives/column/42742>
- ・川前あゆみ・玉井康之著 『山村留学と子ども・学校・地域』 2005年1月20日、高文堂出版社、36～56頁
- ・田島 与久・菊地 美咲著 『自然体験学習と子どもの成長に関する研究(3)―サケを題材にした自然体験活動とその指導②―』 北海道文教大学研究紀要第40号、2016年、69～81頁
- ・生涯学習審議会答申「生活体験・自然体験が日本の子どもの心を育む」1999年、および、子どもの体験活動研究会編『文部省委嘱調査 子どもの体験活動等に関する国際比較調査』2000年
- ・さいたま市教育委員会学校教育指導部指導2課 「人間関係プログラム」
- ・株式会社日本旅行 トムソーヤクラブ事務局「トムソーヤクラブ」 <https://www.tomsawyer-club.jp/>
- ・津別商工会「経営発達支援計画の概要」



ご清聴ありがとうございました。

